

【確認問題⑦-4】解答

国語 「敬語」について (B)

五年組 番号前

問一

次の①～④の敬語について説明した文のうち、正しいものには○を、まちがっているものには×を、それぞれ□の中に書きましょう。

① 目上の人やあまり親しくない人と話す時には、改まった言葉遣いを行います。その時に使う改まった言葉遣いを「敬語」と言います。

② 「言う」という言葉の尊敬語は「申し上げる」、謙譲語は「おっしゃる」です。

「申し上げる」は謙譲語で、「おっしゃる」は尊敬語だね。



③ 「お」や「ご」を付けた言葉も敬語です。「お座りになる」「ご覧になる」は尊敬語、「お持ちする」「ご案内する」は謙譲語です。

④ 敬語を使うことで、相手を思いやる気持ちを表すことができます。おたがいを大切に思う気持ちが大事です。

問二

次のア～エの文うち、適切な言い方はどれでしょうか。二つ選んで□に記号で書きましょう。(解答は順番どおりに書かなくてもなくてもよいです)

- ア ご注文は何になさいますか。
- イ ご注文は以上でよろしかったでしょうか。
- ウ こちらがハンバーグ・ランチになります。
- エ お会計は合計で二千八百円でございます。
- オ 五千円からお預かりします。

線の部分がまちがった言い方だよ。正しくはどう言えばいいのか。おうちの人に聞いたり、調べたりしてみよう。



問三

次の①～④は、総合的な学習の時間で行ったインタビュー学習について、発表している時の大井さんのセリフです。線部を適切な言い方に直して書きましょう。（適切な言い方はいくつもある場合がありますが、一つだけ書いてください）



① 私は、お米農家の米山さんに話を聞きました。

うかがい

※「お聞きし（ました）」も○

② 米山さんは、雨の日も風の日も、毎日のように田んぼに行くそうです。

いらっしゃる

※「行かれる」、「向かわれる」も○

③ 米山さんは、お米作りは苦勞した分、收穫しゅうかくの喜びも大きいと言っていました。

おっしゃって

※「言われて（いました）」も○

④ 帰りには、米山さんからおいしいおにぎりをもらいました。

いただき

「発表」の場面では、聞き手が友だちでも、改まった言い方ができるといいね。



※「ちようだいし（ました）」も○

